

# 浜松地区大学再編・地域未来創造会議 資料

令和4年7月5日（火）



# 法人統合・大学再編の経緯

平成31年3月29日 国立大学法人静岡国立大学機構設立及び大学再編に関する合意書・確認書締結

当初予定

令和3(2021)年度 新法人設立・大学再編

令和4(2022)年度 新体制による学生受入

現時点でスケジュールに2年の遅れ

令和2年10月20日 静岡大学学長選考会議が新学長に日詰一幸氏を選出

学長選考会議の「法人統合・大学再編に関する合意書」を尊重し、対応していくことを期待するとの附記事項については「合意書は尊重する」との見解

## 浜松地区大学再編・地域未来創造会議

(主催：浜松市)

統合・再編を支援するため、経済界や医療関係者をメンバーとする協議会を令和2年10月に設置

- 第1回：令和2年10月28日開催  
・静岡大学、浜松医科大学の将来像について
- 第2回：令和3年2月24日開催  
・法人統合・大学再編に向けた進捗について  
・魅力ある大学の実現と浜松地域の未来像について

行政をはじめ、地域の経済界、医学界などオール浜松で

統合・再編を応援していきたい

統合・再編が地域の更なる発展に資するものと大いに期待

- 第3回：令和3年7月30日開催

静岡大学

・統合・再編をさらに充実、発展させた改革にする**新学部構想**を説明

浜松医科大学

・学部学生にアントレプレナーシップやデータサイエンス教育等を行う

**次世代創造医工情報教育センター**の設置を表明

会議のまとめ（議長）

・**統合・再編の基本的な方針は変更されていない**ことを確認し、安心した

- 第4回：令和4年7月5日開催

## 静岡大学将来構想協議会

(主催：静岡市・静岡大学)

法人統合や大学再編等について、ゼロベースでの議論

令和2年1月～令和3年3月まで 計6回開催

篠原元静岡新聞論説委員・小長谷副市長・松永商工会議所常務理事・玉上国立大学協会審議役（元文部科学省大臣官房審議官）などを含めたWGを5回開催し、静岡大学の将来像について検討

「静岡大学将来構想協議会のまとめ」として更なる発展・充実策の検討に向けた提言を公表し、**協議会は終了**

- 静岡大学将来構想協議会のまとめ【4つの視点から7つの提言】  
静岡大学に具体的な取組として『**新学部の設置**』『大学間連携』『リカレント教育の推進』などを求める  
**統合・再編についての記載なし**

## 静岡大学将来構想推進会議

(主催：静岡市)

静岡大学将来構想協議会の提言のフォローアップを目的として設置

令和4年2月～令和4年5月まで 本会議2回 WG2回開催

将来構想協議会と同様に、行政・産業界・高等教育行政経験者などの委員により、主に新学部構想について意見交換され、**統合・再編の是非について議論なし**

- 終了にあたって「静岡大学新学部へ期待すること」を公表  
新学部設置を地域貢献の大きな取組として期待し、応援する内容  
**統合・再編についての記載なし**

# 法人統合・大学再編に向けた取組

地方創生を主体的に担う地域中核大学の特色ある取組として  
文部科学省から2.3億円（5年間総額予定）、内閣府から3億円（2年間総額）の支援

## 次世代創造医工情報教育センター （令和4年4月開設済）

医工情連携による

医療分野における新たな価値創造を推進

- 学長直轄の組織として創設し、データサイエンス部門とアントレプレナーシップ部門を両輪とし、学部学生へのアントレプレナーシップ教育及びデータサイエンス教育を実施
- 起業家精神を持った社会課題を解決する医療人の育成、メディカルイノベーションの創出に向けた教育を実施し、新たな価値創造に取り組む姿勢や発想・能力を涵養

### 静岡大学浜松キャンパス（工学部・情報学部）との連携

- ・両キャンパスが主催するシンポジウムを開催し領域横断的研究の推進とイノベーションの創出を目指す
- ・現在検討中の浜松地区新大学の将来構想の紹介を予定
- ・今後は医工情を融合させた、先駆的人材養成プログラムを検討



地域の中核大学としての  
教育研究機能の強化

学生発ベンチャー・大学発ベンチャー・  
病院発ベンチャーの創出

Well-beingに資する医療機器や  
アプリケーション等の研究・開発促進

オープンイノベーション促進と  
地域の課題解決への更なる貢献

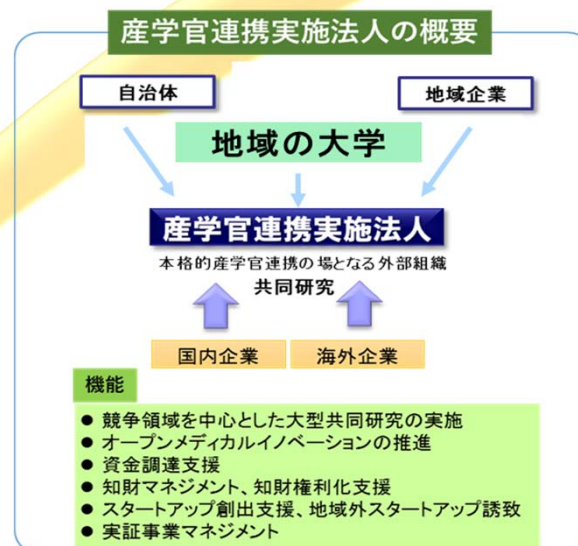
## 産学官連携部門の外部法人化 （令和9年度開設予定）

「組織」対「組織」の共同研究  
をさらに加速させ地域の大学・企業の  
大型共同研究を円滑に実施

令和9年度に外部法人化（産学官連携実施法人等）  
を目指している。その準備組織として令和3年11月に  
産学官連携実施法人設置準備室を設置した。

また、産学官連携実施法人の設置にあたっては、  
地域の大学、企業及び自治体からの参画を検討している。  
競争領域を中心とした大型共同研究の実施やオープン  
メディカルイノベーションの推進だけでなく、競争的  
資金獲得支援、ギャップファンド提供、知財マネジメン  
ト、知財権利化支援を積極的に実施し、外部資金の獲得  
を推進する。

他大学や  
自治体など  
地域連携  
の更なる強化



# 法人統合・大学再編の進展と今後

## ● 静岡キャンパス各学部との研究情報交換会（静岡キャンパス全4学部と開催）

- ・ 静岡大学農学部 令和2年 2月18日（参加 83名）
- ・ 静岡大学理学部 令和3年 9月14日（参加113名）
- ・ 静岡大学教育学部 令和3年12月27日（参加 70名）
- ・ 静岡大学人文社会科学部 令和4年 4月27日（参加 50名）

静岡地区との連携を深め、共同研究の推進や新たな研究領域の創出に期待

## ● 静岡地区の大学運営検討専門委員会

- ・ 第2回 令和3年12月24日 ・開催に至る経緯をまとめるとともに、今後の論点について提起
- ・ 第3回 令和4年 3月24日 ・統合・再編に関する合意書締結以降の経緯説明
- ・ 第4回 令和4年 5月31日 ・両キャンパスに跨る大学院の統合・再編後の在り方について議論

静岡キャンパスで統合・再編を前提とした議論の開始

合意書締結以降 連携協議会42回を含め、200回以上の関係会議を開催し統合・再編について検討

**統合・再編の各会議において「静岡大学の統合・再編に対する方針」が明確でないため、議論が滞っているとの両大学の共通認識**

- ・ 新学部がもたらす地元自治体への大きな地域貢献
- ・ 18歳人口の県外流出状況を踏まえ、  
「魅力ある地方大学の実現に資する地方国立大学の定員増」の活用

**DXによる産業変革・地域課題解決に資する人材を養成する  
医・工・情報3学部それぞれの強みを活かした新学部  
の創設を検討する**